

資 料 提 供

和歌山県と同時提供

令和3年11月15日



担当課	維持管理課
担当者	木下 公平
電話	073-435-1131
内線	3219

い さ お て ん の う む そ た
県道有功天王線（六十谷橋）の全面通行止めに伴う
交通状況について

和歌山市は、企業局管理の六十谷水管橋の崩落を受け、仮設の水道管を敷設した県道有功天王線（六十谷橋）の全面通行止めを、10月6日より和歌山県にお願いしています。

全面通行止めしてからこれまで、六十谷橋周辺の交通渋滞を緩和するため、他の橋の利用といった迂回の呼び掛けなどをおこなってきました。つきましては、通行止め一ヶ月後の交通状況についてお知らせします。

利用者の方々におかれましては、引き続き、紀の川大堰管理橋をはじめ、六十谷橋周辺道路への負荷を抑えるため、次の点にご協力をお願いいたします。

- 1 和歌山北 IC 利用者を含む道路利用者は、最新の交通情報を確認するとともに、迂回の検討をお願いします。
- 2 朝のピーク時（7時半頃～8時半頃）、夕のピーク時（5時半頃～6時半頃）の利用を避けるために時差出勤等への協力をお願いします。

通行止めの期間中はご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

(道路交通状況のまとめ)

○通行止め直後と一ヶ月後を比較すると渋滞長は減少傾向。しかしながら、橋梁上は滞留する傾向。 【別紙1参照】

○六十谷橋通行止め後、六十谷橋周辺の橋梁については交通量が増加し、紀の川を渡河する交通が広域的に転換する傾向。 【別紙2参照】

○六十谷橋通行止め後、和歌山市中心部や六十谷エリアの方が紀の川大堰管理橋の利用を控える一方、阪和自動車道(県外)や岩出市以東の方は引き続き利用する傾向。 【別紙3参照】

【別紙1】紀の川大堰管理橋の渋滞状況

- ・紀の川大堰管理橋北詰、南詰の交差点において、通行止め直後の10/7(木)～8(金)と、一ヶ月後の11/4(木)～5(金)を比較すると、北詰、南詰交差点(①、②、④)では概ね渋滞長が減少しているものの、紀の川大堰管理橋上(③、⑤)では車両が滞留する傾向。

(注1) 渋滞長とは、信号が青から赤に変わった際、通過できずに残った車列の長さ

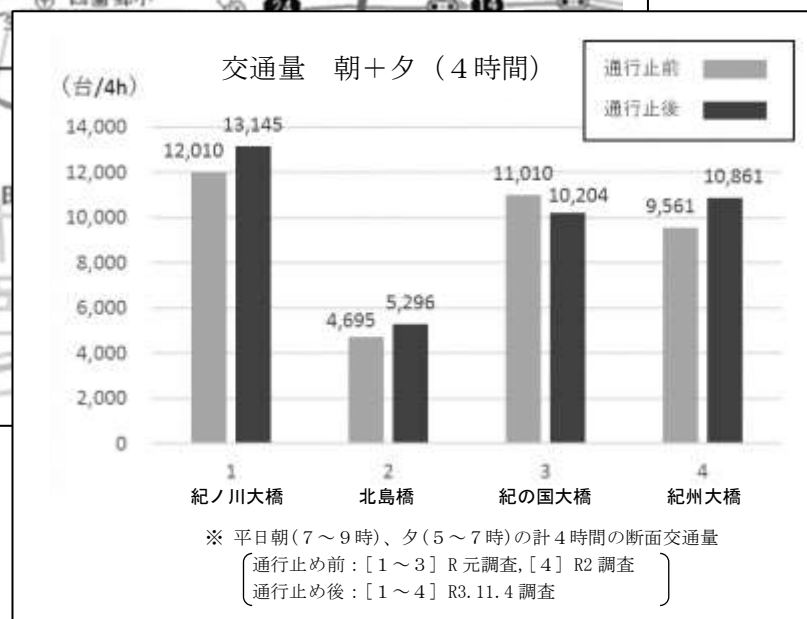
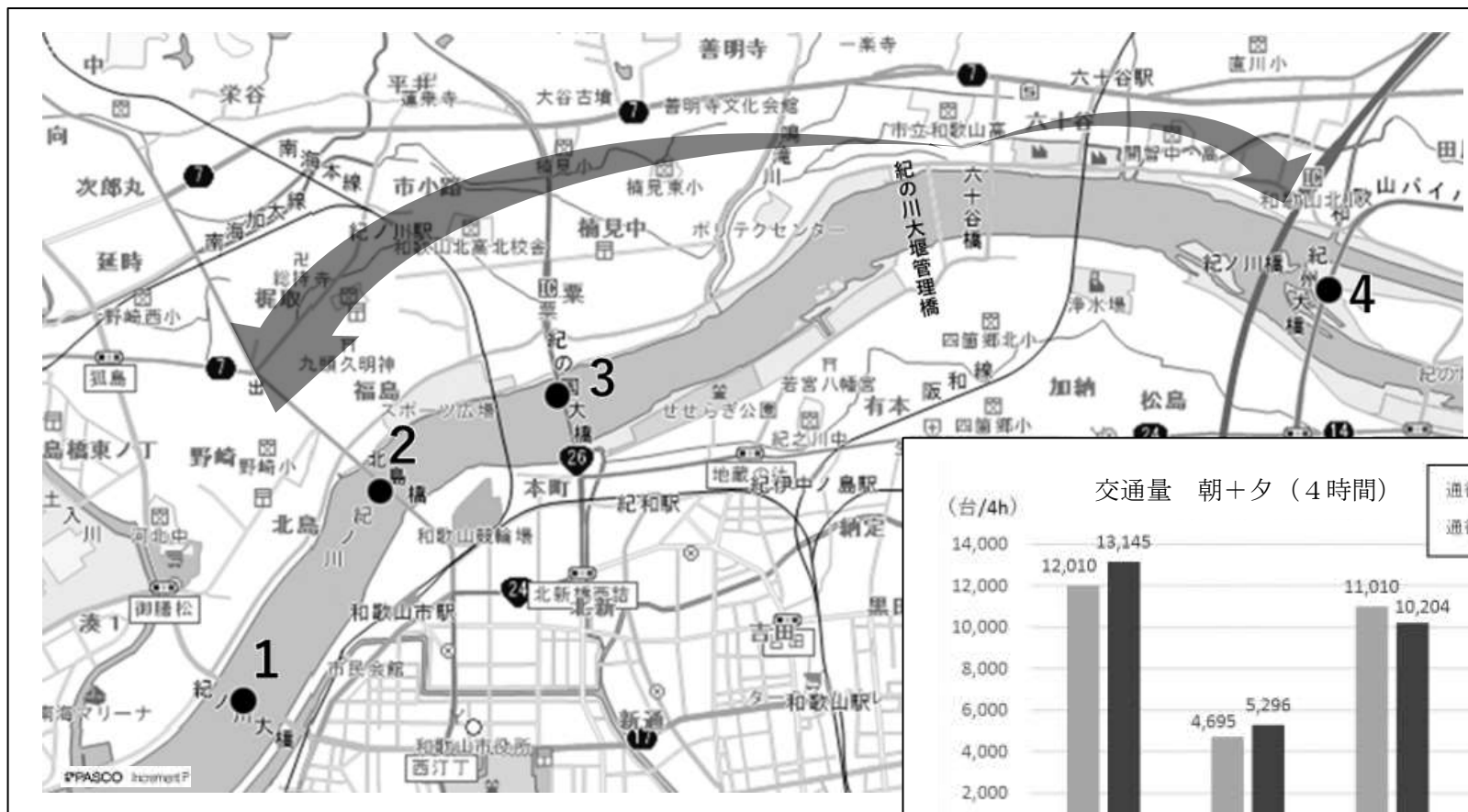
(注2) 職員による簡易的な計測結果

渋滞長 (m) 平均 (最大)		朝		夕	
		通行止め直後 10/7(木)～8(金)	一ヶ月後 11/4(木)～5(金)	通行止め直後 10/7(木)～8(金)	一ヶ月後 11/4(木)～5(金)
河南方面行	①北詰交差点西側	400 (500)	80 (70)	130 (150)	20 (40)
	②北詰交差点東側	400 (450)	250 (300)	0 (0)	10 (20)
	③南詰交差点北側	300 (300)	350 (350)	70 (140)	10 (20)
河北方面行	④南詰交差点東側	110 (220)	0 (0)	200 (200)	30 (50)
	⑤北詰交差点南側	100 (100)	100 (100)	140 (180)	240 (290)



【別紙2】 広域迂回の状況

- 六十谷橋通行止め後、六十谷橋周辺の橋梁については交通量が増加。特に、紀ノ川大橋が1,100台/4時間、紀州大橋が1,300台/4時間増加するなど、紀の川を渡河する交通が広域的に転換する傾向。



【別紙3】六十谷橋・紀の川大堰管理橋の利用状況

- 六十谷橋通行止め以前に六十谷橋を利用されていた方は、和歌山市中心部（約25%）、阪和自動車道（県外）（約16%）岩出市以東（約15%）、六十谷エリア（約12%）を発着・帰着する方が大勢。
- 六十谷橋や紀の川大堰管理橋を利用されていた方は、六十谷橋通行止め後、和歌山市中心部（約25%減）、六十谷エリア（約11%減）の方が紀の川大堰管理橋の利用を控える一方、阪和自動車道（県外）（約1%減）、岩出市以東（約6%減）の方は引き続き利用する傾向。



国資料をもとに県作成

※利用割合の変化はETC2.0（R2.9月-11月[全日]とR3.10.6-20[全日]の比較）より国が算出